

桜と寺院のなごみの城下町づくり

三春地区

三春町

県中建設事務所
計画期間：H19～H19

地域づくりの方針

まちなかに点在する「桜」「神社」「お寺」「商店街」「温泉」等を有機的に連携させる企画及び仕組みづくりにより「桜と寺院のなごみの城下町づくり」を目指す。

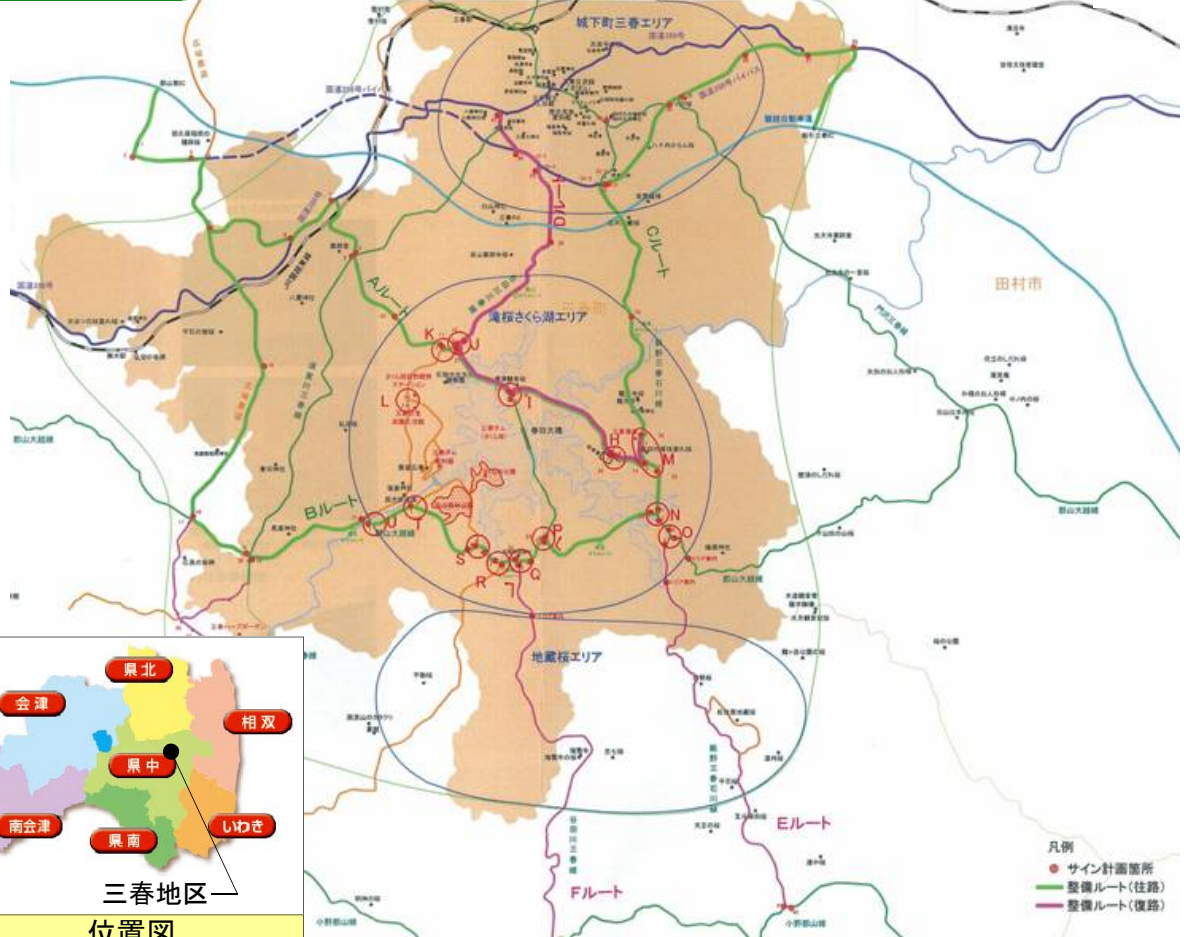
主な事業内容

桜等の観光地への誘導をスムーズにするため
サイン整備
をしました。



事業概要図

さくら湖周辺地区サイン計画



地域の現状

三春町には、国の天然記念物である滝桜と、三春ダム資料館、自然観察ステーション等の施設が整備されており、年間を通し多くの観光客が訪れています。さらに、「うつくしま・みずウオーク三春大会」など、各種イベント等も開催され、多くの参加者でにぎわいを見せています。

しかしながら、観光施設がわかりづらく、道案内が不十分であると意見が寄せられています。

また、まちなか活性化を目指し、「築城500年祭」等のイベントも精力的に行われていますが、さらなる活性化策として、まちなかへどうすれば人を誘導できるかを模索している状況です。

地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・町が、神社仏閣の案内標識を整備。あわせて、桜子周辺のポケットパーク整備を完成させた。

平成17年

- ・一層のまちなか周遊を促進するため、商工会青年部が三春町まちなかの観光パンフレットを作成。

平成18年

- ・住民主体による「三春のおよばれ研究会」を組織し、三春町の環境・景観・観光等のあり方と地域の関わり方を研究、まちなか観光のモニターツアーによる調査を実施。
- ・さくら湖、名所の桜、三春まちなかの観光周遊を一層促進させるべく、さくら湖周辺サイン整備事業を国・県・市が連携を図り整備を進める（～H19）

平成19年

- ・「三春のおよばれ研究会」が主催で、町の盆踊り期間に併せて、「絵灯籠祭りとおよばれ百杯宴」を桜川周辺で開催。
- ・地域づくり支援の勉強会を開催。
- ・さくら湖周辺サイン整備が完了し、さくら湖～桜の名所～三春まちなか周遊の利便性が向上した。

平成20年

- ・町中心部における桜川改修計画が始まる。

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

○資金集め

地元企業等から寄付金を集めて何とか足りましたが、続けていくためには補助金の継続的な確保が必要だと思えます。しかし、補助金の情報がなかなか集まらず、申請しても認められなかったこともあり、今後も苦労すると思われれます。

○人集め

当初はコアメンバーしかおらず、人数が必要な絵とうろうなどの備品作成や会場の草刈、宴席設営、絵とうろう配置時は全員倒れそうになりながら作業を行いました。

その後、活動のことが少しずつではありますが浸透し始め、まだ少人数ではありますがボランティアや地元住民の協力を得られるようになってきています。

実施した感想

(県担当者)

■本活動を通じて人と人とのつながりは地域づくりを進めていく以外でも様々な場面で重要なことだと実感できました。

(およばれ研究会佐藤恵美子さん)

■「元気ふくしま交流会」で、他団体の内容を知ることができ、とても貴重な体験でした。

元気づくりの立役者たち

およばれの心



滝桜



三春人形 座美人



事業の効果

■他地域との交流

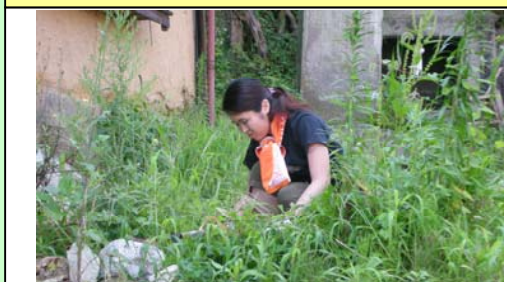
喜多方市の地域づくり団体との交流。

喜多方市との交流



■地域住民主体の手作りイベント『絵灯籠まつりと三春のおよばれ百杯宴』の開催

会場設営の様子



会場設営の様子



“絵灯籠まつり”の様子



絵灯籠を小・中学生といっしょに作りました。
材料は牛乳パックを使用しています。



地域の課題・今後の展望

(三春のおよばれ研究会代表世話人三瓶一壽さん)

“継続は力なり”と言いますが、打ち上げ花火でなく、如何にしたら継続できるかを考えながら、活動することだと思います。その意味で私共は今立ち上げたイベントを町民の方々にしっかりと支持してもらい、“歳時記”として皆さんに愛され、楽しみながら継続してもらえることを目指したいと考えています。



整備内容及び利用状況

案内標識工



案内標識



滝桜

目的地へスムーズに行けるようになりました。



案内標識



案内標識

利用状況

(利用者の声)

■「さくら湖」周辺の誘導がスムーズになったと思います。

関係機関

- 福島県 三春土木事務所 業務課
- 三春町 産業課 観光グループ
- 三春のおよばれ研究会

TEL : 0247-62-3151

TEL : 0247-62-3960